たけのうち通信 *******4年9月 **Vol.89**

Takenouchi News

公明党

発行責任者: 竹野内 猛 〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-38-1-101 TEL: 080-9804-9782 FAX: 045-345-4345 E-mail: info@takenouchi-takeshi.com

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。47歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。 平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市会議員に初当選、現在2期目。



市政の充実へ政策研究、現場調査に全力!



脱炭素の取組推進へ

8月2日、神戸港湾におけるカーボンニュートラルポートの取組みを聴取、空港島の水素供給拠点を視察。神戸市は横浜市とともに国からモデル地区に指定されており、ゼロカーボン達成へお互いを参考にしながら、取組みの前進を図っています。

時代変化に対応したビジネス支援

8月3日午前、イノベーション創出に向けたスタートアップ支援拠点「アンカー神戸」を、午後は大阪の中小企業の総合支援拠点「MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)」を訪問。横浜でもスタートアップ支援、脱炭素・DXなど社会的要請に応えるビジネス転換、ニーズマッチング等のサポートは最重要課題の一つです。





多様性を強さに

8月4日、浜松市議会を訪問し多文化共生の取組みを巡って意見交換。国際都市・横浜の活力と魅力の創出、更なる暮らしやすさへ重要なテーマです。企業へのインセンティブ、外国人による諮問機関など、有意義なヒントを得ました。

公明党•五大市政策研究会

8月5日、横浜·京都·大阪·神戸·名古屋の公明党市議団の代表が京都市内の会場に集い、各都市の温暖化対策を巡って情報・意見交換。施策の更なる前進に反映するとともに、共通課題を抽出して国への要望へ繋げていきます。



毎日のお買い物で20%キャッシュバック!

市民の生活支援と横浜経済の振興を図るため、市会臨時会で決定した、ポイント還元キャンペーンが8月26日からスタート。レシ活VALUEについては、スマホをお持ちでない方も郵送申請ができます。





▲詳しくは 横浜市経済局 商業振興課へ

横浜市 レシ活

食料品・その他 600円 レシ活VALUE 各1枚 3万円 ガソリン 1,000円 1回の 還元上限 1日の 20%キャッシュバック! 利用上限額 投稿上限 レシ活チャレンジ 飲食店利用 3万円 3枚 3万円 (テイクアウト含む) 第2弾





大道1丁月

大道一丁目住宅街、見通 しの悪い変則交差路に カーブミラーを新設。東 京・大田区の青年から「金 沢区の友人を訪ねた際に 要望がありました」と、お声



を寄せて頂いたものです。公明党議員・党員のネットワークで、 小さな声もキャッチしてお応えします。

並木3丁目



並木中学校脇の歩道が根上がりし、「自転車や歩 行者がつまずいて危ない」とのお声を頂きました。 そこで、根上がり解消工事と合わせて歩道のガタ つきを補修。歩きやすい歩道に改善されました。

アレルギー対策は公明党!

「日本のアレルギー対策を支えてきたのは、公明党であることは間違いない」

-日本アレルギー学会・海老澤元宏理事長

《アレルギー疾患対策基本法と公明党》

アレルギーを考える母の会が公明党・上田勇衆院議員に相談 平成11年8月

公明党が全国で運動、1464万人の署名を集める 平成12年4月

公明党政務調査会で基本法作成に着手 平成20年3月

民主党政権が誕生 平成21年8月

公明党が「アレルギー疾患対策基本法案」提出も廃案に 平成22年5月

民主党厚生労働部門会議にて「そんなに大切だったら、自分たちの

政権の時にやればよかっただろう」と、公明党を突き放す

平成24年12月 自民・公明が政権復帰

平成26年6月 「アレルギー疾患対策基本法」成立

平成30年11月 市立みなと赤十字病院、県立こども医療センターを

県アレルギー疾患医療拠点病院に選定

公明党市議団では「アレルギーを考える母の会」と毎年懇談を重ね、横浜市のアレ ルギー疾患対策を推進してきました。教育・保育の現場でのアレルギー対応、災害備 蓄への配慮等に加え、アレルギー疾患の拠点病院である市立みなと赤十字病院で の取組み充実が図られるよう議会質問を重ねています。





▲公明党市議団でみなと赤十字病院を訪問し、 中村陽一センター長と懇談。

横浜市の敬老パスが ICカードに

10月1日からの完全切り替えに向け、紙製カードを所有の方にプラ スチック製ICカードを順次送付中。ICカード化により敬老パスの正確 な使用実態の掌握が可能となります。持続可能で充実した地域交通 施策の確立につなげていきます。



▲ICカード型敬老パス

専用の読取機と取付位置のイメージ▶











